学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5	
用講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29			
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	20240581003077	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001			
	 初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the				
course syllabus	喜安 千弥/Kiyasu Senya			
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	喜安 千弥/Kiyasu Senya			
授業担当教員名(オムニバス科目等)				
/ Instructor(s)	喜安 千弥 / Kiyasu Senya			
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目、教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar	
教室/Class room	学部問い合わせのこと			
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyasu@nagaaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Office	工学部1号館2階 情報システム204			
担当教員TEL/Tel	095-819-2582			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 5校時			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 主体性/Autonomy	to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)			
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	 詳細は授業計画詳細を参照			
contents of each lesson 事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)			
キーワード/Keywords) C (211)			
教科書・教材・参考書/Materials	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			
教科書・教材・参与書/Materials 受講要件(履修条件)/Prerequisites	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。 			
文碑女什(履修示计)/rierequisites				

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	アンスト広場(厚かい子主文技主)理論元 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
m 57 Nomariko	適宜予習をして講義に望むこと。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	N.
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	l'
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画評細 / Course Schedule	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
	授業内容 / Contents ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明 (全体講義)
回(日時)/Time(date and time)	
回(日時)/Time(date and time) 第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)
回(日時)/Time(date and time) 第1回 第2回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義) 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)
回(日時)/Time(date and time) 第1回 第2回 第3回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義) 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義) 情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)
回(日時)/Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義) 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義) 情報収集・文献リストの作成(各教員研究室) クリティカル・リーディング(全体講義)
回(日時)/Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義) 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義) 情報収集・文献リストの作成(各教員研究室) クリティカル・リーディング(全体講義) 要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)
回(日時)/Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義) 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義) 情報収集・文献リストの作成(各教員研究室) クリティカル・リーディング(全体講義) 要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室) 発想法・思考の整理(プレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)
回(日時)/Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義) 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義) 情報収集・文献リストの作成(各教員研究室) クリティカル・リーディング(全体講義) 要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室) 発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義) カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)
回(日時)/Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義) 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義) 情報収集・文献リストの作成(各教員研究室) クリティカル・リーディング(全体講義) 要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室) 発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義) カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室) ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)
回(日時)/Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第6回 第7回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義) 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義) 情報収集・文献リストの作成(各教員研究室) クリティカル・リーディング(全体講義) 要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室) 発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義) カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室) ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義) 課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)
回(日時)/Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第6回 第7回 第8回 第9回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義) 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義) 情報収集・文献リストの作成(各教員研究室) クリティカル・リーディング(全体講義) 要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室) 発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義) カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室) ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義) 課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室) プレゼンテーション(ビジュアルエイド、ジェスチャー)(全体講義)
回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義) 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義) 情報収集・文献リストの作成(各教員研究室) クリティカル・リーディング(全体講義) 要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室) 発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義) カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室) ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義) 課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室) プレゼンテーション(ビジュアルエイド、ジェスチャー)(全体講義) 提案内容の吟味(各教員研究室)
回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第6回 第7回 第8回 第9回 第11回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義) 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義) 情報収集・文献リストの作成(各教員研究室) クリティカル・リーディング(全体講義) 要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室) 発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義) カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室) ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義) 課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室) プレゼンテーション(ビジュアルエイド、ジェスチャー)(全体講義) 提案内容の吟味(各教員研究室) 提案内容の吟味(各教員研究室)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
	20240581003078	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	<u>初年次セミナー(情報) / Firs</u>	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the	13 1 13 C C C C C C C C C C C C C C C C		
course syllabus	全 炳徳/Jun Byungdug		
授業担当教員名(科目責任者)	全 炳徳 / Jun Byungdug		
/ Instructor in charge of the course			
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	全 炳徳 / Jun Byungdug		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと	•	•
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	bdjun@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-819-2706		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 09:00-12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	┃ ┃ 汎用的能力/Generic Competen	ce 倫理観/Ethics 多様性の	理解 / Understanding
しい力 (1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through	Diversity 主体性/Autonomy		えをやり取りする力 / Ability
the course (pick 1 to 3)	to exchange ideas 国際・地域	或社会への関心/Interest in inter	national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	 詳細は授業計画詳細を参照		
contents of each lesson 事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)		
キーワード/Keywords	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
教科書・教材・参考書/Materials	 購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	牌八で1日にする教作首はのリみにル。具件は技業型にこに配刊します。		
スポター (Mを Pタル I F) / I To Toqui Si tos	l		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2949 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Υ
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	全 炳徳 /中小企業において人工衛星データ解析のプログラムを開発・販売
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003079	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小林 透/Kobayashi Toru		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	小林 透/Kobayashi Toru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小林 透/Kobayashi Toru		
科目分類 / Course Category	 数春ゼミナール科目 数春ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目 / Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	urs 32/1/10s. Four occurrence occurrence	DCI / COMMISS
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobayashi-toru@nagasaki-u.ac.j	 D	
担当教員研究室/Office	文教キャンパス工学部一号館410室	•	
担当教員TEL/Tel	0958192577	-	
	月曜から金曜		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9:00~17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする月 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される strong description of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2949 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
Υ
小林透 / 大規模ソフトウェア開発 / 実践的問題発見能力の開発
授業内容 / Contents
ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5	
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29			
刑時表別日 / Course Curation	必修,選択,自由 / required,	単位数(一般/編入/留学)/Credits		
必修選択/Required / Elective	elective, optional	(General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	20240581003080	科目番号/Course code	05810030	
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柴田 裕一郎/Shibata Yuichiro			
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	柴田 裕一郎/Shibata Yuichiro	柴田 裕一郎/Shibata Yuichiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	柴田 裕一郎/Shibata Yuichiro			
科目分類 / Course Category	│ ――――――――――――――――――――――――――――――――――――		選択科日 / Flective Courses	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar	
教室 / Class room		m 我//> / Course Style	/英目 / Jeiiman	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuichiro@nagasaki-u.ac.jp	—		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3F 情報システム研究	至304		
担当教員TEL/Tel	095-819-2572			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜6校時		LPAMOT	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Ulversity 土体性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society	
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される students' thinking other than the above			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)			
キーワード/Keywords) (· · ·)			
教科書・教材・参考書/Materials	 購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。			
受講要件(履修条件)/Prerequisites		Jerrioixxa e e leadij o k y	•	
XIII (NA IS ALIT) / I TO				

アクセンドリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
美術経験ののる教員による技業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

	00047757 / / / / / / / / / / / / / / / / / /		
学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003081	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高田 英明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高田 英明		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高田 英明		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hideaki nagasaki-u.ac.jp (メ	ールを送信する際は を@に置き換え	えて送信してください)
担当教員研究室/Office	工学部1号館4F 教員・ゼミ室412		
担当教員TEL/Tel	095-819-2576		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週水曜日13:00-14:30 (授業実施	也期間中)	
担当教員オフィスアワー/OTTICE Hours		jp)では随時受け付けますので、お ェクト」科目と連動して、長崎の地	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 主体性 / Autonomy 励働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする月 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される strong in the strong i		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
s 事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)		
キーワード/Keywords) (···)		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
TINGISM (NOTE OF THE PROPERTY	l .		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2949 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Υ
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	高田 英明 / 大手通信会社にて研究開発マネージメント、人事育成、産学連携マネージメントなど の実務経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
	/First Semester	唯口 · 仅时 / Day · Fel lou	
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credi (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003082	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	尾崎 友哉 / OZAKI Tomochika		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	尾崎 友哉/OZAKI Tomochika		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	尾崎 友哉 / OZAKI Tomochika		
科目分類 / Course Category	 教養ゼミナール科目,教養ゼミナ		 由選択科目/Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomo.ozaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	情報データ科学部棟5F 503号室		
			
	Eメールによる受付.下記にメール	 レをしてください .	
担当教員オフィスアワー/Office hours	tomo.ozaki@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 主体性/Autonomy	Diversity 土体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする) / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society	
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために知識を総合的に活用する活動 b.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 c.対はize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 b. Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される b. Teaching of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	詳細は授業計画詳細を参照		
contents of each lesson 事前、事後学修の内容/Preparation & Review	 授業で配付された資料等を整理し うこと(4h)	次回授業準備を行うこと、および	「グループメンバーとの会議を行
キーワード/Keywords) - C(TII)		
教科書・教材・参考書/Materials	<u>┃</u> 購入を指定する教科書はありませ		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	MILL CONTINUE OF STATE OF STAT	Allockade elemijok	
スポージー (N& IP ハーT) / I TOTO QUI TOTO	L		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2949 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Υ
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
	尾崎友哉 / (株)日立製作所における研究開発経験 / 企業における研究開発の経験をもとに , 実社会
用)/Name / Details of practical experience /	における課題解決の実用的な知識を理解させる .
Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5	
BB+##BBB (O	/First Semester	•		
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29	W () W () I () I () I	1	
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	20240581003083	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	植木 優夫			
授業担当教員名(科目責任者)	植木 優夫			
/ Instructor in charge of the course				
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	植木 優夫			
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar	
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		'	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)				
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	uekim nagasaki-u.ac.jp (は			
	文教キャンパス情報データ科学部			
—————————————————————————————————————	095-800-4193			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日5限			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基 3) ディスカッションを通じて他者 5) わかりやすい口頭発表とレポー		⋚ができる。	
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 主体性/Autonomy	to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される students' thinking other than the above			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)			
キーワード/Keywords				
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。			
受講要件(履修条件)/Prerequisites				
Carry ((1867) / 1 To Toquito (1867)	1			

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
美術経験ののる教員による技業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5	
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29			
刑時表別日 / Course Curation	必修,選択,自由/required,	単位数(一般/編入/留学)/Credits		
必修選択/Required / Elective	elective, optional	(General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	20240581003084	科目番号/Course code	05810030	
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報)/Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	金谷 一朗/Kanaya Ichiro	金谷 一朗 / Kanaya Ichiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	金谷 一朗 / Kanaya Ichiro			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	金谷 一朗 / Kanaya Ichiro			
/ Instructor(s)	***ギンナ リジロ ***ギンナ)関打引口 / 「 a a k i v a / C a v m a a a	
科目分類 / Course Category		ール科目,大学院科目[構造],自由		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習 / Seminar	
教室 / Class room	学部問い合わせのこと			
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kanaya nagasaki-u.ac.jp(は	@に置き換えること)		
担当教員研究室/Office	情報データ科学部棟501			
担当教員TEL/Tel	095-800-4194			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで確認すること			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	3) ディスカッションを通じて他者	7) 王体的に味趣味がからさる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土海性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society	
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson				
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)			
キーワード/Keywords				
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。			
受講要件(履修条件)/Prerequisites	THE COURT OF THE PROPERTY OF T			
ATT (IIX IVAT () / I TOTOGRATOTEO				

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
美術経験ののる教員による技業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5	
	/First Semester	THE IXES SEE, SECTION	1	
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29			
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	20240581003085	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宮本 道子			
授業担当教員名(科目責任者)				
/ Instructor in charge of the course 授業担当教員名 (オムニバス科目等)	宮本 道子			
/Instructor(s)				
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses	
対象年次/Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar	
教室/Class room	学部問い合わせのこと			
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmiyamoto nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き	換えて送信してください)	
担当教員研究室/Office	情報データ科学部棟305号室			
担当教員TEL/Tel	095-800-4187			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 3 限			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 主体性/Autonomy	to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 doncinument of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 doncinument of the contents of the lesson or to think over Activities involving others to think from the various perspectives C.技能修得のために実践する活動 doncinument of the comprehensively outilize knowledge to solve problems 			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)			
キーワード/Keywords				
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。			
受講要件(履修条件)/Prerequisites	ATTICLE OF THE ISSUE OF THE ISS			
Carry ((1867) / 1 To Toquito (1867)				

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
美術経験ののる教員による技業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5	
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29			
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
	20240581003086	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the				
course syllabus	酒井 智弥/Sakai Tomoya			
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	酒井 智弥/Sakai Tomoya			
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	酒井 智弥/Sakai Tomoya			
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar	
教室/Class room	学部問い合わせのこと			
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tsakai@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Office	工学部1号館2階情報システム研究	室203		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日5校時			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1 つ以上 3 つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 主体性/Autonomy	to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 doncinum shills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 をbr>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)			
キーワード/Keywords				
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。			
受講要件(履修条件)/Prerequisites			-	
- Indiana (including) / included in the	<u> </u>			

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
美術経験ののる教員による技業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5	
開講期間 / Course duration	/First Semester 2024/04/08~2024/09/29			
用曲知目 / Course duration		兴 (六米) 南瓜 (4台) (五7 24) (0 11 11 11 11		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	20240581003087	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原澤 隆一/Harasawa Ryuichi	原澤 隆一/Harasawa Ryuichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原澤 隆一/Harasawa Ryuichi	原澤 隆一/Harasawa Ryuichi		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	原澤 隆一/Harasawa Ryuichi			
/ Instructor(s)	-			
科目分類 / Course Category		ール科目,大学院科目[構造],自由		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar	
教室/Class room	学部問い合わせのこと			
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	harasawa@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Office	教員・ゼミ室407(工学部1号館4階)		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜5校時			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	 1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の表 3) ディスカッションを通じて他者 5) わかりやすい口頭発表とレポー 		ぎができる 。	
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土种性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society	
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 doncinument of the contents to the lesson or to think over arious perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	 詳細は授業計画詳細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)			
キーワード/Keywords				
教科書・教材・参考書/Materials	 購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。			
受講要件(履修条件)/Prerequisites	勝八で日化する教行首はのリみせん。具合は技夫型してに配引します。			
文明女IT(NEIPSTIT)/FIETEYUTSTES				

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
美術経験ののる教員による技業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5	
用講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29			
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	20240581003088	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	<u>初年次セミナー(情報) / Firs</u>	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the				
course syllabus	藤村 誠/Fujimura Makoto			
授業担当教員名(科目責任者)				
/ Instructor in charge of the course	藤村 誠/Fujimura Makoto			
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤村 誠/Fujimura Makoto			
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar	
教室/Class room	学部問い合わせのこと			
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujimura[アットマーク]nagasaki	-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館4階 教員・ゼミ室409			
担当教員TEL/Tel	095-819-2584			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日5校時			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	3) ディスカッションを通じて他者	1) 主体的に課題採求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	┃ 汎用的能力/Generic Competen	ce 倫理観/Ethics 多様性の	理解 / Understanding	
しい力 (1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through	Diversity 主体性/Autonomy	協働性/Cooperativeness 考	えをやり取りする力 / Ability	
the course (pick 1 to 3)	to exchange ideas 国際・地域	或社会への関心/Interest in inter	national / local society	
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 doncinument of the contents to the lesson or to think over Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	 詳細は授業計画詳細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)			
キーワード/Keywords				
カストライン カスティン カスティン カスト カスティン カスティン カスティン カスティン カスティン カスティン カスティン カスティン カスティン アイフィン アイフィン アイフィン アイフィン アイフィン アイフィン アイフィン アイフィング アイス アイフィング アイス アイフィング アイス アイフィング アイフィング アイフィング アイフィング アイフィング アイフィング アイフィング アイフィング アイス アイス アイフィング アイス アイフィング アイス	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。			
受講要件(履修条件)/Prerequisites	The second secon			
	1			

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
美術経験ののる教員による技業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
用講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003089	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001	村日留写 / Course code	03610030
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t Voor Cominar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the	別年八とこと (旧報) / 1113	t-rear Seminar	
course syllabus	一藤 裕/lchifuji Yu		
授業担当教員名(科目責任者)			
/ Instructor in charge of the course	一藤 裕/lchifuji Yu		
授業担当教員名(オムニバス科目等)			
/ Instructor(s)	一藤 裕/lchifuji Yu		
科目分類/Course Category			選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address		ールを送信する際は を@に置き換え	
担当教員研究室/Office	情報データ科学部棟4階		,
—————————————————————————————————————	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで教員と時間調整を		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	 汎用的能力/Generic Competen	ce 倫理観/Ethics 多様性の	理解 / Understanding
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through	Diversity 主体性/Autonomy		えをやり取りする力 / Ability
the course (pick 1 to 3)	to exchange ideas 国際・地域	域社会への関心/Interest in inter	national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	 詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	 授業で配付された資料等を整理し うこと(4h)	次回授業準備を行うこと、およびグ	ループメンバーとの会議を行
キーワード/Keywords	. ,		
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありませ	 ん。資料は授業回ごとに配付します	0
受講要件(履修条件)/Prerequisites			-
	L		

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
夫術経験ののる教員による技業科目でのるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
	20240581003090	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the	131111111111111111111111111111111111111		
course syllabus	荒井 研一/Arai Kenichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	荒井 研一/Arai Kenichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	荒井 研一/Arai Kenichi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次/Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-arai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部 1 号館 4 階「教員・ゼミ	室 405」	
担当教員TEL/Tel	095-819-2701		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜 5 校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Ulversity 土体性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し うこと(4h)	次回授業準備を行うこと、およびグ	ループメンバーとの会議を行
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありませ	 ん。資料は授業回ごとに配付します	0
受講要件(履修条件)/Prerequisites			<u> </u>
ATT (IIX IVAII) / I TOTOGUTOTEO			

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
夫術経験ののる教員による技業科目でのるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Course duration	/First Semester 2024/04/08 ~ 2024/09/29		
用确知III / Course duration		兴 (六米h / 南瓜 / bà) / 6万 兴 / C : t	
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003091	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報)/Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	伊藤 宗平		
授業担当教員名(科目責任者)	伊藤 宗平		
/ Instructor in charge of the course			
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	伊藤 宗平		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次/Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと	•	•
対象学生(クラス等) /Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-ito@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部一号館4階情報システム研究	空室407	
担当教員TEL/Tel	095-819-2571 (緊急時以外はEmai		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し うこと(4h)	次回授業準備を行うこと、およびグ	ループメンバーとの会議を行
キーワード/Keywords	,		
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありませ	 ん。資料は授業回ごとに配付します	0
受講要件(履修条件)/Prerequisites	MINICIANE / STATIFICO / S.C.	ATHOUXALCCICION OR F	•
スポメニ (M& Pタルコア / / Tite Tequion teo			

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
夫術経験ののる教員による技業科目でのるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Course duration	/First Semester 2024/04/08~2024/09/29		
用曲知目 / Course duration			
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003092	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宮島 洋文		
授業担当教員名(科目責任者)	宮島 洋文		
/ Instructor in charge of the course			
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宮島 洋文		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyajima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	長崎大学文教キャンパス 情報デ	ータ科学部棟2階	
担当教員TEL/Tel	095-800-4198	P 113 BIT PIN-TH	
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 16:10 - 17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土海性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	 詳細は授業計画詳細を参照		
s 事前、事後学修の内容/Preparation & Review	 授業で配付された資料等を整理し うこと(4h)	次回授業準備を行うこと、およびグ	ループメンバーとの会議を行
キーワード/Keywords	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
教科書・教材・参考書/Materials	┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━		_
受講要件(履修条件)/Prerequisites	スササント、で、1日心です。ひまだれ首はのソみで	rv。 只行iojx未出してIC癿ij Uみ y	0
文明女IT(複形亦計)/FIEIEquiSILES			

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
夫術経験ののる教員による技業科目でのるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003093	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001	村白笛号 / Course code	03610030
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(情報)/Firs	t Voor Sominar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the	別年八とこと (旧報) / 1113	t-rear Seminar	
course syllabus	梅津 佑太		
授業担当教員名(科目責任者)			
/ Instructor in charge of the course	梅津 佑太		
授業担当教員名(オムニバス科目等)			
	梅津 佑太		
科目分類 / Course Category	 数春ゼミナール科日 数春ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目 / Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	・, _ · , · ·	HT FENT / COULDE CLY TO	/AE / COMMING
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	umezu.yuta nagasaki-u.ac.jp	 (メールを送信する際は を@に置	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
担当教員研究室/Office	情報データ科学部棟 304号室	() WEELING WING EGICE	ge ix/t tell o t (/tet/)
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	<u>├─────────────────</u> Eメールで適宜受け付ける.		
正二秋東のフィステラー/OTTIOC HOUTS			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	┃ 汎用的能力/Generic Competen	ce 倫理観/Ethics 多様性の	理解 / Understanding
しい力 (1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through			
the course (pick 1 to 3)	to exchange ideas 国際・地域	域社会への関心/Interest in inter	national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	 詳細は授業計画詳細を参照		
contents of each lesson 事前、事後学修の内容/Preparation & Review	 授業で配付された資料等を整理し うこと(4h)	次回授業準備を行うこと、およびグ	ループメンバーとの会議を行
キーワード/Keywords	()		
教科書・教材・参考書/Materials	 購入を指定する教科書はありませ		0
受講要件(履修条件)/Prerequisites			-
THE STATE OF THE S	1		

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
夫術経験ののる教員による技業科目でのるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003094	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001	111 E 3 7 0001 30 0000	00010000
授業科目名/Course title	<u>初年次セミナー(情報) / Firs</u>	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the	MINCLY (INTX) / III	t Todi Jomina	
course syllabus	神山 剛/Kamiyma Takeshi		
授業担当教員名(科目責任者)	神山 剛/Kamiyma Takeshi		
/Instructor in charge of the course	три ругиантуна такезіт		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	神山 剛/Kamiyma Takeshi		
科目分類 / Course Category			選択科目 / Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room		11332/17/EX.7 COULCE OLY 10	DCI / Commission
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	情報データ科学部棟3F		
担当教員TEL/Tel	095-800-4195		
担当教員オフィスアワー/Office hours	予めアポをとるようお願いします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through	Diversity 土种性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
the course (pick 1 to 3)			•
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し うこと(4h)	次回授業準備を行うこと、およびグ	ループメンバーとの会議を行
キーワード/Keywords	. ,		
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありませ	 ん。資料は授業回ごとに配付します	0
受講要件(履修条件)/Prerequisites		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	-
CHEST (INCIDENT) / I TOTOGRATORIO			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2949 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	神山 剛 / モバイル通信事業者にて、約15年間、研究開発業務に従事
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第11回 第12回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面) 提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
	/First Semester	曜日 1文時 7 Day 1 El 100	7 THU 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003095	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋将宜		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 将宜		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋将宜		
科目分類 / Course Category	┃ 数春ゼミナール科日 数春ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科日 / Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	1, 2, 0, 4 学部問い合わせのこと	H942/1/M. / OOUTOO Style	/A P COMPTICE
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			で送信してください)
担当教員研究室/Office	情報データ科学部棟403	T WEELS EGICATOR	CEROC(REVI)
担当教員TEL/Tel		 常時はメールアドレスに連絡するこ	<i>L</i>)
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 10:00-11:00am	中ではケールケーレスに生活するこ	<u> </u>
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	 詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)		
キーワード/Keywords	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			-
	<u> </u>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
夫術経験ののる教員による技業科目でのるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
BB+##BBB (O	/First Semester	•	
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29	W D W . To the N CT W	1
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003096	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松本 拡高		
授業担当教員名(科目責任者)			
/Instructor in charge of the course	TA'T' JIAI-J		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松本 拡高		
科目分類/Course Category	┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━		選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	,	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address		 (メールを送信する際は を@に置	 置き換えて送信してください)
	 文教キャンパス情報データ科学部		,
—————————————————————————————————————	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントを取っ	 てください。	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)		
キーワード/Keywords	z = - (··· /		
教科書・教材・参考書/Materials	 購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			<u> </u>
ATTENTO / IT TO			

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
夫術経験ののる教員による技業科目でのるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
用講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003097	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the			
course syllabus	瀬戸崎 典夫 / Setozaki Norio		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	瀬戸崎 典夫 / Setozaki Norio		
授業担当教員名(オムニバス科目等)			
/ Instructor(s)	瀬戸崎 典夫/Setozaki Norio		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	setozaki nagasaki-u.ac.jp (>	メールを送信する際は を@に置き 技	換えて送信してください)
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構 2 階PBL実習室學	B	
担当教員TEL/Tel	095-800-4189		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	 汎用的能力/Generic Competen	ce 倫理観/Ethics 多様性の	理解 / Understanding
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than			えをやり取りする力 / Ability
knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)		。 或社会への関心/Interest in inter	-
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	 詳細は授業計画詳細を参照		
contents of each lesson 事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)		
キーワード/Keywords)		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件(履修条件)/Prerequisites	マン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
ATT (IIX IVAII) / I TOTOGUTOTEO	I .		

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2949 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	(E-MATE) Supportent .nagasaki-u.ac.jp
1佣名/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
 実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
夫術経験ののる教員による技業科目でのるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
	/First Semester	唯口 · 仅时 / Day · Pel lou	/K / Tilu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Cred (General /Transfer/Overseas)	11 0 2 0/1 0/1 0 2 0
時間割コード/Time schedule code	20240581003098	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	今井 哲郎/Imai tetsuo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	今井 哲郎/Imai tetsuo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	今井 哲郎/Imai tetsuo		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目、教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自	自由選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと	•	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	imai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館4F 406室		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週水曜日13:00-14:30 (授業実施	· 也期間中)	
担当教員オフィステラー/OTTICE Hours	メールでは随時受け付けますので		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehens to think from the comprehension of the c		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course	詳細は授業計画詳細を参照		
contents of each lesson 事前、事後学修の内容/Preparation & Review	 授業で配付された資料等を整理し うこと(4h)	次回授業準備を行うこと、および	バグループメンバーとの会議を行
キーワード/Keywords	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
教科書・教材・参考書/Materials	┃ 購入を指定する教科書はありませ		 長す。
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
רואשואון / וואשואון וואשואון וואשואון וואשואון			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2949 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Υ
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	今井哲郎 / 2002年4月 ~ 2009年9月までNEC中央研究所において通信ネットワークに関する研究開発に従事 / 実務における実課題解決のための手法について詳述する
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
	/First Semester	TELL IXING POUR	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credi (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003099	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(情報) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	堤 公孝/Tsutsumi kimitaka		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	堤 公孝/Tsutsumi kimitaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	堤 公孝/Tsutsumi kimitaka		
科目分類 / Course Category	 教養ゼミナール科目,教養ゼミナ		 由選択科目/Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	ALS SAME CONTROL CONTROL	MA TIME
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kimitaka.tsutsumi@nagasaki-u.a	nc.ip	
担当教員研究室/Office	工学部1号館4階411	···) -	
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
	木曜 5 限 (授業時間内)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	それ以外はメールで適宜受け付け	ます。	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。5) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehens to think from the comprehension of the c		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの貢献 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	 詳細は授業計画詳細を参照		
contents of each lesson 事前、事後学修の内容/Preparation & Review	 授業で配付された資料等を整理し うこと(4h)	次回授業準備を行うこと、および	ゲループメンバーとの会議を行
キーワード/Keywords) - C(TII)		
教科書・教材・参考書/Materials	<u>┃</u> 購入を指定する教科書はありませ		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	MILL CONTROL OF THE PROPERTY O	Allockade elemijok	
スポッター (N及 IP / / I To Toqui ST Les	l .		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2949 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Υ
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	堤 公孝 / 大手通信会社にて研究開発・国際標準化およびマネージメントの実務経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明(全体講義)(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(全体講義)(対面)
第3回	情報収集・文献リストの作成(各教員研究室)(対面)
第4回	クリティカル・リーディング(全体講義)(対面)
第5回	要約した文章のピア・リーディング(各教員研究室)(対面)
第6回	発想法・思考の整理(ブレスト、KJ法、マンダラートなど)(全体講義)(対面)
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化(各教員研究室)(対面)
第8回	ディスカッション(傾聴力、ファシリテーション、対話)(全体講義)(対面)
第9回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第10回	課題の抽出と解決案の創造(各教員研究室)(対面)
第11回	提案内容の吟味(各教員研究室)(対面)
第12回	提案内容の完成(各教員研究室)(対面)
第13回	プレゼンテーションのリハーサル(各教員研究室)(対面)
第14回	アカデミック・ライティング(全体講義)(対面)
第15回	授業の振り返り(各教員研究室)(対面)